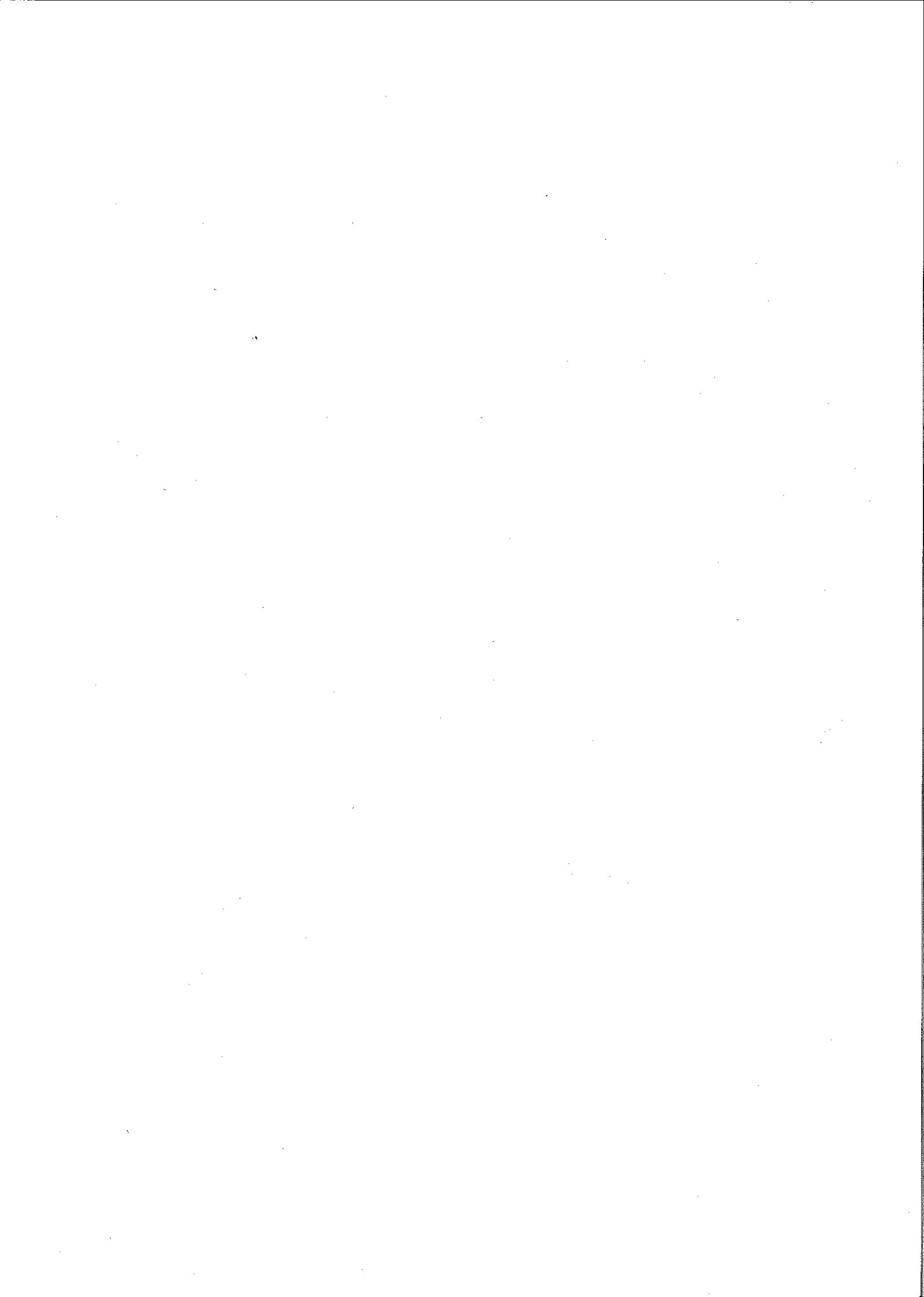


【別冊 4】

平成29年登米市議会定例会 2月定期議会 資料

一般会計・特別会計・企業会計
平成29年度当初予算の概要

平成29年2月2日



平成29年度当初予算の概要

〔一般会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ466億6,133万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、22億326万円、4.5%の減額となっております。

歳入では、一般財源として、市税74億3,756万円、地方交付税176億9,600万円を見込み、特定財源として国・県支出金76億8,150万円、市債67億2,130万円、さらに、各種特定目的基金から11億6,071万円を繰り入れし、財源不足分については財政調整基金からの繰入金16億9,161万円を計上しております。

歳出では、未来のまちづくり支援事業1億6,368万円、認定こども園施設整備事業4億6,525万円、迫児童館整備事業3億4,938万円、新クリーンセンター整備事業6億5,246万円、多面的機能支払事業5億9,340万円、企業立地促進事業2億5,190万円、道路新設改良事業15億8,519万円などを計上しております。

また、継続費1件、債務負担行為6件、地方債35件を計上しております。

〔国民健康保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ111億7,963万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、2億3,918万円、2.1%の減額となっております。

歳入では、国民健康保険税23億2,941万円、国県支出金32億17万円、共同事業交付金23億6,768万円などのほか、一般会計繰入金7億8,420万円を計上しております。

歳出では、保険給付費66億8,141万円、後期高齢者支援金等12億1,272万円、共同事業拠出金24億6,623万円などを計上しております。

〔後期高齢者医療特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億7,113万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1,933万円、2.4%の減額となっております。

歳入では、後期高齢者医療保険料4億6,789万円、諸収入1,661万円などのほか、一般会計繰入金2億8,642万円を計上しております。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金7億2,386万円などを計上しております。

〔介護保険特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ94億4,594万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、3億1,744万円、3.5%の増額となっております。

歳入では、介護保険料17億5,160万円、国県支出金38億1,063万円、支払基金交付金25億3,196万円などのほか、一般会計繰入金13億5,128万円を計上しております。

歳出では、介護サービスなどの保険給付費88億9,598万円、地域支援事業費2億8,617万円、総務費1億7,985万円などを計上しております。

〔土地取得特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,447万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、6億9,565万円、84.8%の減額となっております。

歳入では、土地開発基金繰入金1億2,437万円などを計上し、歳出では、宅地造成事業特別会計への繰出金1億2,437万円などを計上しております。

〔下水道事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ49億6,403万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、1億912万円、2.2%の減額となっております。

歳入では、使用料及び手数料7億5,978万円、国県支出金5億905万円、市債16億9,510万円などのほか、一般会計繰入金18億2,597万円を計上しております。

歳出では、下水道施設整備費12億9,784万円、総務費10億9,625万円、公債費25億5,493万円などを計上しております。

また、債務負担行為4件、地方債3件を計上しております。

〔宅地造成事業特別会計〕

歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億2,437万円とするものであります。前年度当初予算との比較では、7億3,018万円、85.4%の減額となっております。

歳入では、土地取得特別会計繰入金1億2,437万円などを計上し、歳出では、企業用地造成事業費1億2,437万円などを計上しております。

〔水道事業会計〕

業務の予定量について、給水件数を3万500件、年間総有収水量を791万 m^3 と定め、収益的収入の予定額を26億3,264万円、支出の予定額を25億4,334万円とし、単年度の純損失が4,490万円となりますが、前年度の利益剰余金3,133万円により年度末の未処分利益剰余金は1,356万円の損失となるものであります。

営業収益では、前年度より3,118万円減の22億7,143万円、営業費用については、前年度より339万円減の22億9,112万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を15億9,351万円、支出の予定額を27億3,318万円とし、取水施設整備事業、導水施設整備事業、浄水施設整備事業、送水施設整備事業、配給水施設整備事業などの建設改良費に20億5,093万円、企業債元金償還金6億8,224万円を計上しております。

また、企業債8件を計上しております。

〔病院事業会計〕

業務の予定量について、延べ患者数を入院10万8,212人、外来26万8,464人と定め、収益的収入の予定額を74億761万円、支出の予定額を85億5,556万円とし、単年度の純損失を11億4,795万円とするものであります。

医業収益については、前年度より8,068万円減の66億7,305万円、医業費用については、前年度より833万円増の75億7,508万円、特別損失として、退職給付引当金

7億6,038万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を8億451万円、支出の予定額を8億2,131万円とし、米谷病院建設事業や豊里病院空調設備改修、医療機器整備などの建設改良費4億5,072万円、医学生奨学金等貸付金4,580万円、企業債元金償還金3億2,478万円を計上しております。

また、継続費1件、企業債3件を計上しております。

〔老人保健施設事業会計〕

業務の予定量について、延べ利用者数を入所2万6,394人、通所7,419人と定め、収益的収入の予定額を4億1,756万円、支出の予定額を4億6,043万円とし、単年度の純損失を4,286万円とするものであります。

事業収益については、前年度より357万円増の3億9,715万円、事業費用については、前年度より648万円増の4億1,918万円、特別損失として、退職給付引当金2,689万円を計上しております。

資本的収支では、収入の予定額を6,171万円、支出の予定額を6,171万円とし、衛生設備改修などの建設改良費2,275万円、企業債元金償還金3,895万円を計上しております。